



逆転オセロニア

スペシャル

Special Memorial Book

ブック

逆転オセロニア Special Memorial Book

新たな始まりの起点、

オセロニアの祭典 10th Anniversary

ご来場いただきありがとうございました。

オセロニアの10年間はトラベルだらけ...

決して、まっすぐで平坦な道ではありませんでした。

それでもオセロニアが10周年を迎えられたのは

オセロニアのみなさん一人ひとりの支えがあったからです。

この感謝を胸に、僕たちはこれからも来永く
オセロニアの運営を続けていきます。

これまでも、これからも

オセロニアはオセロニアと共に。

運営オセロニア プロデューサー けいじこ

Keigo
けいじこ
2026.2.7



「実は別ゲーだった」オセロニアの元アプリ

2014年4月

けいじえいが異動してきた部署で開発されていた新作アプリ「天国と地獄」がほぼ完成して、あとは世に出すだけというタイミングで、新担当となったけいじえいが「天国と地獄」をけいじえいが1から作り直し、後に逆転オセロニアとなった。

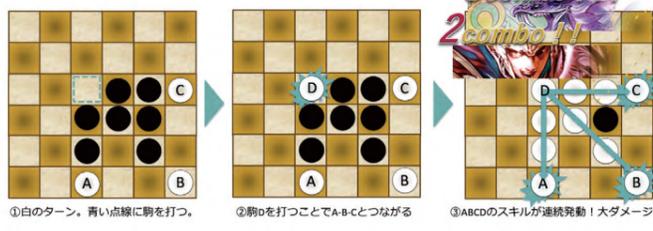


▼「天国と地獄」のキャラクターたち

逆転オセロニアの元アプリ
「天国と地獄」
 ・対戦なし、ソロプレイのみ
 ・横持ち、3D
 ・コンボスキルなし



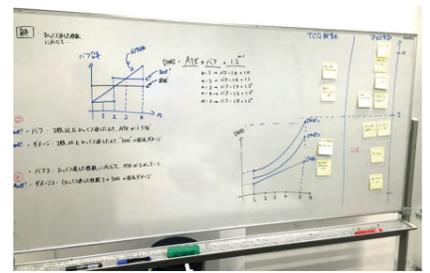
対戦機能の追加、バトルルールの変更、縦持ちへの変更、2Dイラストへの変更など根本的な作り直しが行われた。今ではおなじみの「コンボスキル」もこの時期に開発された。



リリース初期はウルとガープの対立が物語の軸として作られていた。



開発中のキャラクター詳細画面。スキル内容や呼び方が現在とは大きく異なる。



駒をひっくり返した時のダメージ計算の会議。逆転の気持ちよさを感じる数値にするため、何度も調整を行い現在の値となった。

Tips

メーティスのセリフ台本の一部。2Dイラストに変更されてからもデザインの変更は何度も行われた。



「みなさんが作ってきたゲームは売れないので僕が作り直します！」
 めちゃくちゃ干されましたね。10年前…
 「オセロをベースにした対戦ゲーム」という新方針でおよそ1年10ヶ月かけて全て作り直しました。
 夜中まで議論してスタッフを説得して、会社に頭を下げてギリギリの予算を確保して、いつ墜落してもおかしくない低空飛行の中でなんとか完成させたことをよく覚えています。



現在は6名ほどの専任チームがキャラの性能を設計していますが、2016年2月の初期キャラクターの性能はすべてけいじえいが設計しています。
 公開に向けたテストが始まる直前の土日、全キャラのスキル名とスキル性能を徹夜で決めました。ルキア・カミュ・ヴァイセなどの初期キャラが胸アップデットされることなく、10年経った今でもデッキで使われているのは感慨深いと思います。
 深夜のノリでつけたスキル名「ニケ」の「逆襲のピンチパンチ」とクリムゾン・ニトルスの「ゴキッル怪光線」はすこく気に入っています。

2016年2月4日 逆転オセロニア公開



オセロニアを事前登録したプレイヤーだけが持つ「ジャンヌ・ダルク」
歴古参の証としても現在でもお気に入り・プロフィールカードに登録している人もいます。



初の公式リアルイベント「宴」

2016年6月

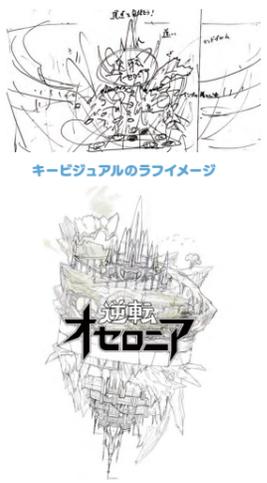
初のリアルイベントとなる「集まれーオセロニアの宴 in 秋葉原2016」を開催。
この時に、後に「オセロニアファミリ」と呼ばれるタイガー・桜井・宮坊・高梨悠介・ちゅうにー・石川利恵(当時・みそしる)が出演者として参加していた。

開催場所

- 6/4 東京(秋葉原)
- 9/3 大阪
- 10/8 名古屋
- 11/6 東京(高田馬場)



当時はちゅうにー&みそしるがコスプレ姿で参加していた。10年間続いたリアルイベントの原点。



キービジュアルのラフイメージ

「負ける時は面白ー」といっ
キャッチコピーが生まれたのもこの頃です。

ウル、アドラメルク、ファフニールが三つ巴になったオセロニアの初期メインビジュアルづくりの構成は、会議室のホワイトボードの殴り書きから生まれました。当時は絵が描けない自分を嘆きましたが、仕上がったビジュアルを見てびっくり！絵が描けるって本当に素晴らしいですね。



初代プロデューサー「にひP」とけいじえい

実はけいじえいは2代目プロデューサーだって知ってましたか？
初代プロデューサーは知る人ぞ知る「にひP」。僕の上司だったのですが、オセロニアの運営が軌道に乗るところまでプロデューサーを代行してくれてまして、けいじえいは当時、ゲーム開発を統括するディレクターという役割でした。
カップ戦を作り始めるころまでやってから、2016年10月にプロデューサーを交代し、現在はに至ります。
当時はこんなに長く続けることになるとは思いもよらなかった。



初代オセロニア界の新聞記者「リア」

初代オセロニア界の新聞記者リアを覚えている方は多いのではないだろうか。
特に原作があったりしないし、お金もなかったオセロニアのプレイヤーを増やすために当時のTwitterで全リプ返をずっとやっていたね。
その時にオセロニアの方々と一緒に上げた雰囲気は今もオセロニアコミュニティにも受け継がれていると感じます。
今はリアはオセロニアを離れてしまいましたが、元氣にやっていますし、今でも古参の戦友一瞥を眺めているらーいっ。

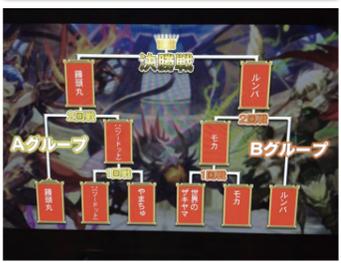
東京ゲームショウで開催された「戦」

2016年8月

初の大会となる「魅せろ！オセロニアの戦 i n T G S」を開催。東京ゲームショウ2016の会場で開催され、多くのファンが駆けつけた。記念すべき初の大会は「饅頭丸」選手が優勝を果たした。



東京ゲームショウ 2016 の一画で開催された。



第1回カップ戦「サマーシャイン杯」の上位8名が出場した大会。



公式YouTube番組「週刊しゃべるニア」始動

YouTube「逆転オセロニア公式ちゃんねる」の番組として「週刊しゃべるニア」がスタート。初期はごはん・リリア・けいじえいが固定メンバーだった。



Tips

自主的にオセロニアのYouTube配信をしていた YouTuber ごはんちゃんねる・ごはんに番組 MC を打診。

その後、正式に公式プレイヤーとなり、全国大会などでの実況を担当することとなった。

プレイ100日目 無課金デッキ紹介

けいじえい小話



けいじえいが実際に作ったキャラ設計資料

プロデューサー専念のため、この橋を最後に、キャラ名設定などの仕事を専門チームに引き継ぎ、けいじえいはキャラ制作から手を離します。この橋にけいじえいが作ったキャラで、数年間お入りした駒もいますね。

神属性
アマジェラ、リンガッド、フレブ、ムーニア、エンデガ、プレム（未制作）

魔属性
トレイナム（未制作）、アヴィリシア、ウエウエ、イグヤールホ、ブランジェッタ

電属性
グエリアス、オルグドラゴン、ヤンドーラ、リシエル、フライオン（未制作）、ハピア、フロード

*キャラ制作：キャラクター名・スキル名・キャラクターの背景設定などを指す。

実は、タイガー・桜井・宮坊が提案してくれたシステム「逆転コイン」。

当時、ファミ通App（2016年3月終了）でオセロニアの動画を毎週のように撮影していたのですが、タイガー・桜井・宮坊・けいじえいの3人で撮影前に寿司ランチを食べていた時に、2人が提案してくれたことをよく覚えてます。



爪と杯コロシアム ランキング速報(07/09)

※ 前日00:00-23:59の勝利数ランキングです

| | | |
|------|------|----------|
| 1位↑ | 151勝 | かね |
| 2位↑ | 89勝 | 世界のやまちゅ天 |
| 3位↑ | 53勝 | びーすけ |
| 4位↑ | 51勝 | Seijin |
| 5位↑ | 48勝 | ゆうしん |
| 5位↓ | 48勝 | まなぼん |
| 7位↓ | 41勝 | 影の使者 |
| 8位↑ | 39勝 | .Natsu |
| 9位↓ | 37勝 | 齋藤飛鳥 |
| 10位↑ | 36勝 | KEN@ |

トッププレイヤーたちに何かイベントを提供しないとやるのがない。しかし、新機能を作る余裕はない...そこで絞り出すように生まれた「頂上杯コロシアム」。

対象のコロシアムのデイリー勝利数のランキングを公式SNSで発表するイベントでした。

ちなみに、このランキング表はけいじえいが毎日データを確認して、1つずつ手入力で作っていました。

ネカフェで対戦キャンペーン

「地元のおセロニアンで気軽に集まれる場」として生まれた「ネカフェで対戦キャンペーン」。当時はネットカフェと連動した単発企画だったが、好評につき毎月開催されるようになった。店舗に入ると、当時は貴重だったスキルフェアリーがもらえる仕組みもあり、おセロニア運営がいないことでむしろ気を使わずに交流できる場として親しまれていた。



けいじえい小話



準決勝「ハンド」選手のガッツポーズ

おセロニア10年の歴史の中でただ一度だけ、けいじえいが不在だったリアルイベント。それが「逆転!」-RORONIVONの戦2016 in STORIA」だ。
「アズマ」選手が優勝した1day大会だったが、この盛り上がりをもって、来年は「逆」を全面大反転でやることおセロニア運営内で意気込んでいました。
「ハンド」選手の勝ち確カッツポーズからのミリ残しは話題になり、当時、いじられまくってました。

1周年おセロニアンの祭典

「なんとか生き残った」おセロニア1周年

2017年2月

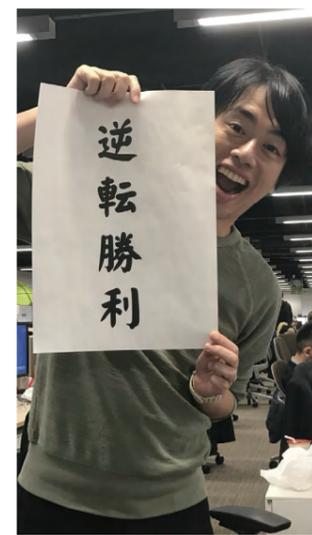
初の周年イベント「集え!おセロニアンの宴 1周年大感謝祭 -2017冬-」を開催。イベント後には、参加者との立食パーティも開かれた。



会場内にはおセロニアのキャラ詳細画面風のフォトブースが設置された。



2/4 「集え!おセロニアンの宴 1周年大感謝祭 -2017冬-」開催会場: 渋谷カルチャーカルチャー (東京)



実はサ終寸前だった2016年末、会社から、「年末年始で数字が伸びなかったらサービス終了してください」という通告がありました。おセロニア運営を悲壮感が包む中、死に物狂いで年末年始逆転祭を準備したのをよく覚えています。

結果は、年末のTVCM放映をきっかけにユーザー数が急増。初の御三家「アンドロメダ」「ヨシノ」「ノイ」が爆売れし、サービス維持が決まりました。新春開催王がA胸でオーラATK1.4倍という破格の性能なのは、実はサ終を回避するために、なんとしても売る必要があったからだったのです。

1周年を記念した宴は、サービス維持が決定した直後だったこともあり、半ば、祝勝会のような気持ちで参加していました。

初となるリアルイベントの全国ツアー

2017年4月

初の全国ツアー「集え！オセロニアンの宴 2017春」を日本横断編として開催。このツアーを経て、日本各地にオセロニアンのコミュニティが生まれ始めた。



初の全国ツアー完走後の打ち上げの様子。このツアーを通じて、公式プレイヤー同士が仲良くなり始めたこともあり、メンバーが固定化された。



開催場所

- 4/22 博多
- 5/13 札幌
- 6/10 大阪
- 6/17 仙台
- 7/2 東京

オセロニアンの祭

オセロニアンの「夏祭り」

2017年7月

夏祭りイベント

「オセロニアンの祭」が開催。全2部制の入れ替え制のイベント。オセロニアBGMの作曲家 谷岡久美による生ライブなど貴重なステージも行われた。



2017年3月31日、YouTube「逆転オセロニア公式ちゃんねる」にオセロニア情報局「ちゃんも」を登録しました。

オセロニア情報局は、当時オセロニア運営の大学生インターだったちゃんもがYouTube担当として立ち上げた企画でした。

後にはじまる「新着オセロニア」を各付けたのもちゃんもです。

当時は、オセロニアのイベント情報だけでなく、いわゆるYouTube的な動画も投稿していました。



2017年5月22日、逆転オセロニアが1000万ダウンロードを突破！12月に400万くらいだったので、1ヶ月に100万ダウンロードずつされていた計算になります。

我々の予想をはるかに超えるスピードでも準備しておらず、急遽ツアーに東京会場を追加するのとなりました。

この頃、オセロニアを始めたという古参勢も多いのではないのでしょうか。

ただの数字ですが、1000万ダウンロードを越えた瞬間は本当に感動しました。



ネカフェで知恵キャンペーンが定例化し、夏の翌日にネカフェに集まる流れができてました。

YouTube「週刊じゃぱん」で毎月のように全国のネカフェに行っていたのを覚えています。

「はちゃん」とリアが繋がるように仲が良くなり、札幌のゲームセンターで撮影したリリヲをオセロニアにあげる企画もしていました。



オセロニアの祭は、リアへの歴史の中でも異色のイベントです。

動物リアのリアツアーで、けいじえいが中心で開催するというおまじの一幕もありました。

ちなみにオセロニアの祭は、全国大会「オセロニアの祭2017夏」の予選期に急遽開催されたもので、準備期間は2ヶ月もなかったような...

この頃は信じられないくらいペースで日本中を飛び回っていました。

2017年秋

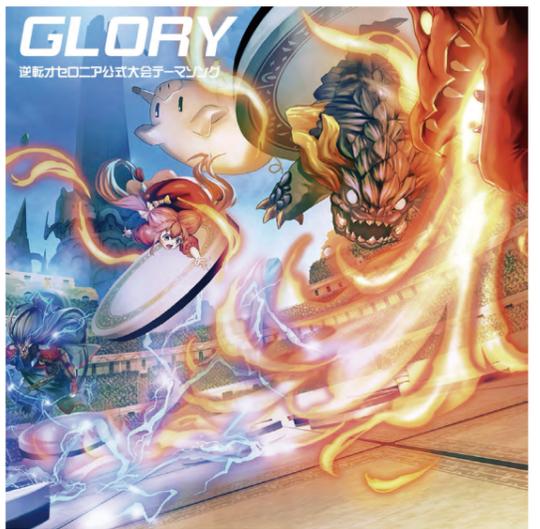
「オセロニアンの宴2017 SPECIAL TOURS」を開催。来たる2周年への盛り上げのために行われた全国ツアーだった。



一部「オセロニアンの祭」の雰囲気を受け継ぎ、会場内にアトラクションが設けられた。

開催場所

- 10/21 福岡
- 11/5 大阪
- 11/11 仙台
- 11/18 名古屋
- 12/3 札幌
- 12/9 広島
- 12/17 東京



逆転オセロニア公式大会テーマソング「GLORY」を制作したのはこの頃でした。

「GLORY」の歌詞は戦2017夏の情景を元に制作しています。

小寺可南子さんの仮歌が入った音源を聞いた時、一気に全国大会の情景が広がって、歌の力って素晴らしいなと再確認しました。

オセロニアンの合戦でのお披露目以降、「GLORY」は毎年の「戦」で流れるテーマソングとして定着していくこととなります。

周年イベント「祭典」のはじまり

開催会場
ベルサール新宿
セントラルパーク (東京)

2018年2月3日
「オセロニアンの祭典 -2nd Anniversary-」



オセロニアンの活動を表彰する「オセロニアンセレクション」がスタート



「ゆきお梅おにぎり」さん 「善経」さん 「にゃも」さん
「白鳥」さん 「運命」さん 「しっふ」さん



OTHELLONIA 2nd ANNIVERSARY FESTIVAL 2018.2.3



「オセロニアンの祭典」という名前に変わったのは2周年からでした。

いわゆる周年の新作オセロニア！LIVEがオセロニアのみならずの中で毎年恒例の楽しみなものになっていったのもこの頃でしたね。

会場が突然暗転し「オセロニア」のテーマソングが流れるという演出はアズリエル、ウイロリア、レックスの闘争解放が最初でした。



2018年1月1日はまだオセロニアの運命の分かれ道……

新春超胸パレードで登場したファヌエル・ベルゼブ、シエンメイのあまりに凶悪な性能は一面で対戦環境を制圧。特にファヌエル・ベルゼブの2キャラは通称「ファヌン」と呼ばれ、以降、2年近くこのゲームを苦しめることとなります。

結果、たくさんのユーザーが去っていくことになりました……



オセロニアンの合戦

3人一組のチーム戦による全国大会

全国優勝を果たしたのは、大阪地区代表のチーム「アキラ闘化はよ!」
3人一組+リザーブメンバーという編成で大会が行われた。



「BeeCo」選手(リザーブ)・「910」選手・「ほんたろ」選手・「聖月」選手



開催場所

- 2/12 名古屋
- 2/16 大阪
- 2/25 札幌
- 3/4 東京
- 3/18 福岡
- 3/25 仙台
- 4/21 全国決勝

オセロニアンの宴 2018

「リアイベ未開催地域」を周る全国ツアー



ちゅうにー・みそしる(石川利恵)によるGLORYのカバーLIVEなど、このツアーならではの特別な催しが行われた。



オセロニエンヌの麗
2018年5月12日
女性オセロニアン「オセロニエンヌ」
だけの限定イベントも開催された。

開催場所

- 6/2 京都
- 6/9 高松
- 6/16 金沢
- 6/24 盛岡
- 6/30 東京
- 7/7 沖縄

けいじえい小話

2018年春、もっと深くリアイベやオセロニアに関する動画を出しているという狙いで「オセロニヤちゃんねる」が設立されました。



この撮影の時の小っ恥ずかしさっただけで済んだよね...



逆転オセロニアの2000万ダウンロード突破を記念し、なんとけいじえいが始球式を行いました。



前日には、まさかのけいじえいの実家のリビングから週刊しゃべりオセロニアのYouTubeLIVEを行いました。ゲームプロデューサーの実家から配信したのは、僕が世界初だと思えます。



物語の続き 2度目の全国大会

2018年秋

初の全国大会「オセロニアンの戦2018」を開催。前回大会から全国ファイナリスト枠を1枠拡大し、ニュースターが生まれた大会となった。



全国優勝を果たした北海道地区代表「でーす」選手。この頃、まだオセロニア歴1年以内だった。



開催場所

- 8/11 東北
- 8/19 九州
- 9/2 北海道
- 9/4 中部
- 9/15 関東
- 9/17 関西
- 10/6 全国決勝



オセロニアンの戦2018全国決勝の翌日、オセロニア運営スタッフまでいから朝イチで電話がかかってきました。

「記たなきー社選手から連絡あり、打ち上げでなくした財布に新幹線のチケットが入っていたらしく、大阪に帰れないらしくて……」

とりあえず、記たなきー社選手(当時は大学生)と合流した僕は、一緒に警察署に財布の紛失届けを出しにいき、そのまま新幹線が来るまで、半日ほど2人で過ごしました。喫茶店で珠算9段の記たなきー社選手にフラッシュ暗算をやってもらったりしたのを覚えています。

会社に経費申請すると紛失分はダメだって言われそうだったので、記たなきー社選手の帰りの新幹線代はけいじえいのポケットマネーから出しました。今となってはいい思い出です。



オセロニアンの戦2018全国決勝には、「駒封印」という特別ルールがありました。対戦する両選手がその試合で使用禁止となる駒を1駒ずつ指定するというもので、独特な読み合いがありました。(「面白い」、実際に開催には保坂、ノヤマヘルとヘルマンしか指定されませんでした……)

このルールが面白かったという声もいたくことがあるのですが、お互いに「駒封印」を指定してからチェック済みになるので1試合の待ち時間が長くなってしまいうという弱点があり、翌年以降は見送られています。うまいやり方が見つかったら、またいつかやってみても面白そうですね。

「オセロニアン同士の交流」を軸に

2018年秋冬

この宴ツアーから明確に「オセロニアン同士の交流」を軸においた「宴」となる。この頃の設計が現在まで引き継がれており、オセロニアンファミリーとの対戦も機会をまたがずに、いちオセロニアンとして同じ目線で楽しんでいくものとなっていった。



開催場所

- 12/2 札幌
- 12/16 東京
- 12/22 仙台
- 1/13 福岡
- 1/20 京都

3周年オセロニアンの祭典

「オセロニアンの声に本当に応えた」 3周年

2019年

3周年イベント「オセロニアンの祭典」3rd Anniversary「」を開催。闘化解放やコラボ発表など大いに盛り上がった。



オセロニアンたちの作品や活動を表彰する「オセロニアンセレクション 19」が行われた。



最優秀賞「阿」さん



最優秀賞「ひじっせー」さん



この日、最大の熱狂を生み出したアギラ闘化解放。2018年に行われた「オセロニアンの合戦」の全国優勝チーム「アギラ闘化はよ!」のチーム名にちなんで闘化解放だった。



実際の運営チャットのスクショ

5会場あるのが一番感動したw
まなてい 20:36
www
KJ 20:36
まなていがんばったな...
まなてい 20:36
間違い無いですね...

新卒1年目で初めて自分がオーナー(責任者)を務めたイベントでした。今となってはおなじみとなった、オセロニアン掲示板を企画したり、プラスチックのパスを作ったり、対戦エリアを分けたり、色々なトライを詰め込んで、たくさん笑顔に会えて、このオセロニアン運を私が幸せにするんだ!と誓ったツアーでした。

5会場やらせてもらうための社内の予算取りが超大変で、サイトで5会場並んだのを見てけいじえいさんとほくほく喜んだのを昨日のことのように覚えています。



オセロニアン勢との積極的な交流がはじまったのがこの頃でした。

#オセロニアンを通じてオンラインでできた活動がリアイベを通じて、現実世界と連結されはじめた感覚をよく覚えています。

#オセロニアンはオセロニアン運営ではなく、アート勢発祥のオリジナルキャラクターとして、その後、色々な作品や活動につながっていくこととなります。



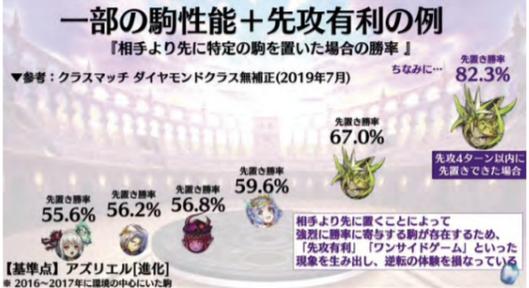
実は、3周年祭典より前に、僕たちはちゃんもも・さをりからルカへのオセロニア情報局の交代に向けて準備をはじめました。

オセロニアのみさんに情報をお聞けするのにおせろニアを始めてでもわからないと困るので、事前にある程度仕上げておこうと思ったからです。

ルカには半年間、ひたすらオセロニアをプレイしてもらい、およそ半年ほどの準備期間を経て、オセロニア情報局の就任を発表することとなります。

「大きなメッセージ」を込めた全国ツアー

「サマースペシャルin大阪」と名付けたツアーファイナルは初の2部制。夜の部は「新着オセロニア! Season 0」という名の配信が会場から行われた。



開催場所

| | | | |
|------|----|------|----|
| 6/23 | 東京 | 7/20 | 広島 |
| 7/6 | 仙台 | 7/28 | 京都 |
| 7/13 | 神戸 | 8/31 | 大阪 |

(サマースペシャル2部制)

配信の中で「けいじえいが2020年1月1日までにファヌブ問題を必ず解決する」といった旨の宣言がされた。勝率など、実際の対戦データが公開されたのはこの日が初めてとなる。



【新着オセロニア】Season 0(シーズンゼロ) について新章開幕!
123,250 回視聴・2019/08/31 にライブ配信

オセロニアンミーティング

復活が待たれる、地元オセロニアンの毎月の集い



ネカフェで対戦キャンペーンが通称「オセミ」としてリニューアル。コロナ禍後に唯一、再開できていないリアルイベント。2026年の現在も、当時を知るオセロニアから復活を望む声が根強い。



2026年
ごはん共創で
ついにオセミ復活!!



大阪から配信した新着オセロニア!で「よく言った!」「環境調整がなければよ!」といった皆さんの応援をいただいた数時間後、まさかのとんでもない炎上が起きました…

原因は、翌日0時に新登場した超駒「リファエル」の「蘇生」スキル。

実は、僕のチェック漏れにより、前日の配信でなんとかしなければいけないキャラのひとつとして挙げた「進化・リファエル」を蘇生するとめちゃ強い!といった宣伝動画が公式から上がってしまったのです。

これを見たオセロニアンたちは「昨日の言葉は全部ウソだったのか!」「すべては集金するための宣伝だったんだ!」「蘇生はそもそもぶっ壊れすぎている!」と炎が呼び大炎上。

さらには、翌日、メディア取材があるオセロニアンミーティングに僕が参加する予定が入っており、僕に直談判するために遠征でネカフェに乗り込んできた方もいたくらいでした。

まさに地獄オブ地獄。やがてリファエルの使用感や勝率が明らかになることで炎上は収まることにはなるのですが、自分の油断が炎上を招いてしまったことの戒めとして、この時のことをずっと忘れないように、僕はいまでもリファエルをお気に入りキャラに設定しています。

宴 2025 秋ツアーの一幕。
当時のオセミの専用パスケースに
サインを求めるオセロニアンもいる。



通称「オセミ」ことオセロニアンミーティングですが、懐かしい思い出がいっぱいあります。前身であるネカフェで対戦キャンペーンの頃からそうですが、宴や戦でいけない地域での不定期開催もやってまして、交通の便で普段はお会いできない各地のオセロニアンと会える楽しさがありました。

だいたい毎月、第一週の土日で開催されてきましたが、地元のオセロニアンたちがフラッと集まったりはその時の新キャラの話で盛り上がったのを覚えています。盛り上がる店舗だと、常連組から生まれた隊がイベント進行をやってくれる文化などもあり、オセロニア運営がないことでも自分たちのペースで自由に交流できる部分もあったのだと思います。

2025年の宴ツアーでもオセミのパスケースをつけてきてくれる人が何人もいて、今でもオセミ復活の時を待っています。

オセロニア史に刻まれた「伝説の一戦」

2019年秋冬

三回目となる全国大会「オセロニアンの戦2019」が開催。各地域を代表するファイナリストが集結した。この大会の決勝観戦には次世代を担う若手オセロニアンが多く参加しており、「とこまゆげ選手と=sai=選手の決勝戦に憧れた」という声も多い。



とこまゆげ選手
オセロニアンの戦 2019 東北地区代表。
過去の戦の実況や選手入場の口上を
全て暗記していた「戦大好きマン」。



=sai= 選手
オセロニアンの戦 2019 関東地区代表。
当時、「神単使い」(※神隠りデッキ)として名が
知られており、そのプレイングに憧れたプレイヤーも多い。

全国決勝の決勝戦用 BGM 「Shape of Fate」は、この大会のために制作された。

開催場所

- 10/19 九州
- 10/27 北海道
- 11/2 中部
- 11/4 関東
- 11/9 東北
- 11/23 関西
- 12/14 全国決勝



オセロニアンの戦2019はオセロニアのキャッチコピー「負ける時はと面白〜」を最大限に体现してくれた大会でした。特に全国決勝の決勝戦はまさに伝説の一戦を呼ぶにふさわしい大逆転劇。書き始めるとこの編ではまるで足りません…。

決勝戦2戦目のごはんちゃん「買けジェニー〜アルカードとコンボ〜一本取り返しました!」は10年の中で一番繰り返した名実況だと思えます。

この大会の見どころはいっぱいあるのですが、個人的なオススメは、北海道地区予選の準決勝2試合ツッキー選手 vs マスター選手の一戦目。ツッキー選手の2ターン目、隣国王様からの3枚アンテナは、「運城メタ」という概念の中、ツッキー選手の天才性が非常に出ていたので、ぜひご覧ください。

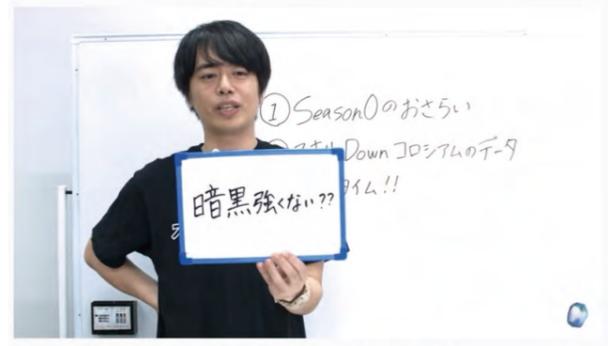


全国決勝の夜、運営の打ち上げの様子。
当時、社会人一年目だった運営スタッフ「みさきち」は
全国決勝の劇的なドラマを経て、自分の仕事の尊さを実感。
打ち上げの最初から最後までずっと泣いてました。



2020年1月1日にフアヌフ問題が必ず解決してみせる!と意気込んでみたものの当初はなかなか数字が改善せず苦しかった。とはいえ、都合の悪いデータを隠さずにオセロニアンみんなと一緒にこの事態を乗り越えたいという思いから、毎月月末に「おしえて!けいじえい」という名前のYouTube LIVEを行っていました。時間が許す限りコメントを全て読んで回答するというものでしたが、痛々しすぎて見られないというお声もいただいていたね。

スキルバッジの導入に伴うシーズン制によってフアヌフ問題は収束を迎えましたが、2019年秋は本当に辛かったです。



【シーズン0】スキルDOWNコロシアムの振り返りと今後の方針について!
13,151 回視聴・2019/09/11 にライブ配信

コロナ禍に一緒に生きるメッセージ

初の無観客となるオンライン配信で「祭典」を開催。



「大丈夫、私たち きつとまた会える！」
いつかの再会の日を信じた言葉がサプライズ3圖化で届けられた。



「オセロニアと一緒に創る」をテーマした「共創」の始まり。コロナ禍でオセロニアンたちに伝えたいメッセージでもあった。



けいじえい麻からの目線。
新冠オセロニアも無観客で
リアクションもわからないまま行われた。

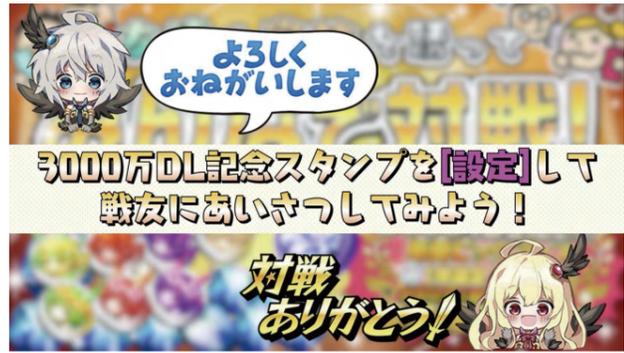


オセロニアアート部門 最優秀賞「新武」さん
オセロニアアート部門 最優秀賞「新武」さん
オセロニアアート部門 最優秀賞「新武」さん

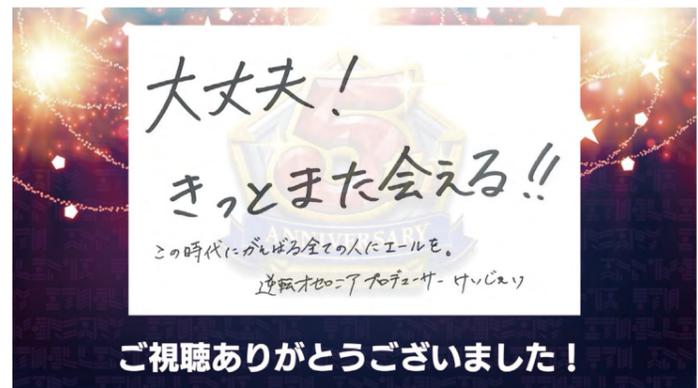
- ・中核チーム
- ・累計100%のコース
- ・新武
- ・山崎マコ
- ・山崎マコ
- ・山崎マコ

3000万DL記念キャンペーン

ダウンロード数で大きいなるマイルストーンを達成



オセロニアンセレクション' 20 最優秀賞「ら」さん共創企画
フギンとムニスタンプ



ご視聴ありがとうございました!

コロナ禍真っ只中で行われた初の無観客での祭典。依然として、感染症の終息が見えない中で迎えた5周年の意味は大きかったです。

僕たちが再会の日を持つオセロニアンたちに伝えるべきことは何か。

たかがスマホゲームかもしれない。でも、この時代に頑張る人たちに送るべきことは何か。

「大丈夫、私たちきつとまた会える」はそんな想いから生まれた言葉でした。5周年の収録でニクの声優「小岩井ことり」さんに僕から直接この演出に込めた意味を伝えたのですが、涙を流しながら、何度も繰り返し直して、想いのこもった本当に素晴らしいセリフになりました。



週刊しゃべり2000回!

オセロニアンたちと通話するロマを動画に動画にし続けてきたオセロニアちゃんねるがこんなに長く続いて、こまじとカマタロには感謝しかありません。

その気持ちを伝えるべく、オセロニアファミリーから寄せ書きとお花を贈るサプライズを行ったのですが、まさかの2人とも男泣き(笑)

そんなに喜んでくれてオセロニアファミリーの方が戸惑っていたのを覚えています。

オセロニアはオセロニアと一緒に。

ずっとずっと一緒にチャンネルをあげてほしいですね。

オセロニアンの戦2022

ついにリアルイベント復活！帰ってきた全国大会

2022年秋冬

3年ぶりとなる全国大会「オセロニアンの戦2022」が開催。新時代の幕開けを告げるニコスターを多く輩出した大会となった。



開催場所

- 10/8 北海道
- 10/16 九州
- 10/23 東北
- 11/13 中部
- 11/19 オンライン
- 11/26 リベンジ予選
- 12/17 全国決勝

7周年オセロニアンの祭典

3年ぶりの有観客開催！「超化解放」のはじまり

2023年冬
4周年以来となるリアルイベント形式で開催された「オセロニアンの祭典」会場にはリアルイベント復活を待っていた全国のオセロニアンたちが集結した。



「オセロニアンセレクション」23

オセロ元世界チャンピオン「高橋雄介」創作ステージ！

新たな人形劇が登場！Mappy全3巻つづりが登場！

オセロニアンセレクション22

オセロニアート部門 最優秀賞 香密さんデザイン

お久しぶりです ナスバトル

7周年記念スラングが登場！

オセロニアート部門 最優秀賞 [jacky] さん

オセロニアート部門 最優秀賞 相川あいかさん・なべの葉さん

12/27~12/29

2023

2022

けいじえい小話



ついにリアルイベント復活！

…だったわけですが、オセロニアンキャラバンの一件もあったので、みんなに会えた感動よりも、大きなトラブルが起きないかの心配の方が強かったです。

前日に、会場で感染症対策の動画を撮ったりしましたね。

3年ぶりのリアルイベントでどれだけの観客が来てくれるかわからなかったわけですが、誰ファイナリストたちを満杯の客席で迎えたい一心で、オセロニアンファミリーと交流できるイベントを無理やり午前中に開催して、人集めをしていました(笑)

そんな僕の心配は杞憂に終わり、会場は満員！本当に嬉しかったです。



エンデガが、時が止まった4周年(コロナ禍最後のリアルイベント)から時を越えて超化開放する。そして「オセロニアンの宴」が帰ってくる。いつかリアルイベント形式が復活した祭典のために温めておいた企画でした。

会場で、A+I+S+に変わった時の絶叫はものすごく、衝撃波がステージまで飛んできました！大丈夫！きつとまた会える。

でも、本当はもう二度とリアルイベントを開催できないかもしれない。

強がりと不安が交互に押し寄せるようなコロナ禍でしたが、ついにこの日を迎えたという気持ちで感無量でした。

7周年祭典参加でもらえたプレイヤータグ「やっこ会えたね」は最高でした。

ちなみにこれ僕の案ではないです(笑)

オセロニアンの宴2023

ついに帰ってきた「公式ファンミーティング」



開催場所

| | | | |
|------|----|------|-----|
| 6/17 | 仙台 | 8/5 | 大阪 |
| 7/1 | 福岡 | 8/13 | 東京 |
| 7/13 | 札幌 | 8/19 | 名古屋 |

オセロニアンの戦2023

「現役最強」の名を手にしたスター選手大会

2023年秋冬

全国大会「オセロニアンの戦2023」が開催。各予選の下馬評の中で本命と目されたスター選手が代表権を獲得し全国に集結した。「現役最強」と呼ばれるプレッシャーを跳ね除けて関東地区代表「まっつー」選手が全国優勝を果たした。



開催場所

| | | | |
|-------|-----|-------|-------|
| 10/19 | 北海道 | 11/19 | 関東 |
| 10/22 | 九州 | 11/23 | 中部 |
| 10/29 | 中部 | 11/26 | オンライン |
| 11/11 | 関西 | 12/17 | 全国決勝 |

けいじえい小話



入社当時から社内・オセロリンから「要はいぞ」ということを聞き続けて、4年ぶりの開催にオーナー（総監督と名付けられました（笑））としての責任をひしひし感じてました。

正直どの会場も必死に会場中をノートパソコンを片手に走り回った記憶ばかりですが、妻だからその交流や出会いが全会場であり、夏2023での出会いが今でもつながっていることがすごく嬉しいです。

コロナが落ち着いて、またオセロリンコミュニティをどんどん広げていけると強く感じたツアーでした。

個人的に印象的だったのは、戦2022でお友達と2人できていたまちゃんだ！おが、隊のメンバーを大勢抱えて会場に来た時ですね！正直、本当に嬉しくて泣きそうになりました。



入社1年目の秋。また右も左も分からない私に、初めて「オーナー」という大役を任せられました。（オセロニアチームでは、若手に挑戦させる文化があります）

進行の段取り、現場の判断など自分に足りない部分が多々浮き彫りになり、悔しくて何度も泣けそうになりました。

それでも、全国決勝のオーニングで選手の皆さんが入場する瞬間。これまでの努力が報われた気がしました。

約2ヶ月間、選手一人ひとりの「戦」にかける想いを見つけてきて、その努力がこの大舞台で実を結ぶ瞬間に立ち会えたこと。

「この経験が、彼らの人生を変えるかもしれない」と実感し、オセロニアの仕事で初めて涙を流しました。

この経験は、自分にとって大きな転機となり、オセロニアというゲーム、そしてオセロリン一人ひとりの人生に少しでも寄り添い、変化を生み出せる仕事なんだと強く感じ、「もっと「ミニミニ」に力を注ぎたい」と思うようになりました。

来場者数が拡大！ 8周年祭典

2024年冬

リアルイベント形式で開催された「オセロニアンの祭典」。歴代最高の動員数で幕を閉じた。



#あけましてオセロニアート

“年賀状を交換しよう！”
という、誰でも参加OKな企画です！

好きなオセロニアのキャラクターの
お正月っぽいイラスト(年賀状)を描いて
ネットプリントに登録！
みんなで交換しませんか？

2024年は…**辰年!!**

※交換しても、イラストを複製してなくても、是非ともキープして下さい！

オセロニアアート部門 最優秀賞「聖守の鳥」さん

オセロニコモンズ部門 最優秀賞「相川あいか」さん

オセロニアンの宴2024

参加人数がさらに拡大！「公式ファンミーティング」



開催場所

- 3/30 京都
- 5/4 東京 Day1
- 5/5 東京 Day2
- 6/8 札幌
- 6/15 仙台
- 6/30 名古屋
- 7/27 福岡



御執業士(ケ・ン)Tさん

そして、10周年イヤーはリアルイベントを史上最大規模で開催します！

会場情報

オセロニアンの宴2025 -SPECIAL TOUR-

6年ぶりの再開！オセロニアの宴20周年祭典 オセロニアンの宴2025-10th COUNDOWN TOUR

オセロニアの宴20周年祭典 -10th Anniversary-

会場：東京国際フォーラム

実際の社内資料の一部(2024年4月)

けいじえいからオセロニア運営に発表された2ヶ年計画。

9周年で10周年イヤーのリアルイベントを公開することや、10周年を東京国際フォーラムで開催することが描かれていた。

8周年が終わった時、僕の頭の中にあったのは「9周年のその先、10周年までの2年間の計画」でした。

10周年は史上最大規模で開催したい。そのため2年がかりでストーリーを作っていく。

9周年でのオセロニアートフェス、エンディングの10周年イヤーの発表なども8周年が終わった頃には計画されていました。

イベント演出・こまじいと議論した結果、会場は「東京国際フォーラム」に決定。伝統的かつ大規模な会場なこともあり、実は、9周年の会場予約よりも前に、10周年の会場を予約していたのです。

けいじえい@オセロニア @kejellonia · 2024年6月30日

2016年1年目の名古屋宴 ↓
2024年9年目の名古屋宴

オセロニアの輪はこんなに大きくなりました！
#オセロニアの宴

7 48 346 3.3万

要2024ツアアの歴代最多会場は「名古屋」！

かつてはライブ開催してはなかなか集まりにくかった名古屋で、これだけの人数が集まるようになってくれたのは感無量でした。

2022年に「まもちゃんだーお」さんが現れてから、本場はリアルイベント参加人数が増えていった気がします。

- 歴代 オセロニアマスターズ王者 ティラノ
- 二代目 オセロニアマスターズ王者 きょん
- 三代目 オセロニアマスターズ王者 ソラ
- 四代目 オセロニアマスターズ王者 千年樹
- 五代目 オセロニアマスターズ王者 Mappy会長
- 六代目 オセロニアマスターズ王者 オッス町田
- 七代目 オセロニアマスターズ王者 じたなきー社
- 八代目 オセロニアマスターズ王者 まっつー
- 九代目 オセロニアマスターズ王者 ももも

リアルイベントができなかったコロナ禍に生まれた「リアムズ」。

この配信で「トントリヤ」の人物やイベントの運びまでを知った人も多いのではないだろうか。

マスターズの配信の日は朝から選手たちの大会説明をしたり、試合の会場にZoomを介した選手とファンとの交流があったり、裏に出てない話がたくさんあります。

「ダブルス」がリアルイベントになって復活！

2024年夏

かつて、コロナ禍にオンラインイベントとして開催された「ダブルス」がリアルイベント形式の1day大会として開催。東日本選手権・西日本選手権に、日本中のオセロニアンコンビが参加した。



オセロニアンサマーダブルス2024 東日本選手権 優勝チーム「守護者の保護者」
左 こーあ@日向夏選手 右 とうみ@日向夏選手
オセロニアンサマーダブルス2024 西日本選手権 優勝チーム「Chaos」
左 アルちゃん選手 右 桜沢選手



オセロニアンの戦い 2024

「オンライン予選からの初優勝」新世代の全国大会

2024年秋冬

全国大会「オセロニアンの戦い2024」が開催。古豪から新世代まで様々なファイナリストが集結した。

開催場所

| | |
|-------|-------|
| 10/5 | 北海道 |
| 10/19 | 東北 |
| 11/2 | 九州 |
| 11/9 | 関東 |
| 11/14 | 中部 |
| 11/17 | 関西 |
| 11/30 | オンライン |
| 12/21 | 全国決勝 |



シーズンマッチ史上最多ポイント「34000PT」の記録を持つ「めんとす」選手。オンライン予選からの最多試合数を勝ち抜き、見事、全国優勝を果たした。



ルルカのおセロニア情報局就任5周年を記念して制作した、新オセロニアチームソング「FIGHTING DREAMER」制作過程はまさかのけいじえい！制作過程の中で、ルルカに僕が歌うデモ音源を送った時が一番恥ずかしかったです。僕の学生時代はロックに魅せられず、バンドばかりやってたので、自分が作った曲がこうして世に出ることになったのはいい思い出ですね。全国のオセロニアンがライブへの打ち上げを「FIGHTING DREAMER」をカラオケで歌ってくれる投稿を見て、僕もルルカもいつも嬉しく思っています。YouTube「オセロニアちゃんねる」にはルルカのレコーディング音源の動画もあるの、ぜひご覧ください！



前例のなかった、リアルイベント形式のダブルスは、仕組みを作るところから丁寧にこまめに先陣であるまなていさんやみさきさんにも盛り打ちしながら、あちこち駆け回っていたのをよく覚えてます。でも当日は、「2人で無名オセロニアって、めっちゃ楽しかった」といってかき回すわ、いやいや楽しかったイベントになりました。ダブルスが終わったあとも、またダブルスやってほしい！と多くのオセロニアンに声をかけてもらえて、嬉しかったのを覚えています。



大冒険イベント、「オセロニアンの戦い2024全国決勝」ファイナリストみなさんから、全国決勝後「オンラインでメッセージ色紙をいただきたいです。2025年も2025年もいたでいて、会社の壁に色紙飾ってます」1人1人から「運営してくれてありがとう」という感謝のメッセージを読んで、本当に心の底から嬉しかったことを昨日のように覚えています。戦は決勝の舞台に立った時、ファイナリストみんなの覚悟が決まった瞬間が本当にかっこいい。誰かの人生が変わる瞬間に立ち会えるのって、本当に尊い。つついっぺい難目標になつてしまっへん！up.

初の2ホール開催！ 9周年祭典

2025年冬

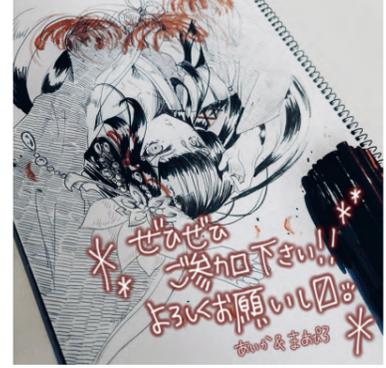
リアルイベント形式で開催された「オセロニアンの祭典」。オセロニアート企画のためだけの別ホールも用意され、歴代最高の動員数をさらに更新した。



「オセロニアンの祭典」



オセロニアート部門 最優秀賞「阿部ボタン」さん



オセロニアコムズ部門 最優秀賞「オセロニアートモノクローム」相川あいさん・まあびろさん



オセロニアンセレクション・オセロニアコムズ部門 3年連続最優秀賞「相川あい」さんプロデュース「オセロニアートフェス」会場ではオセロニアート勢との共創物販も行われた。



DEPARTURE



9周年の共創企画
ちゅうにープロデュースのアパレルブランド「DEPARTURE」
10周年イヤーのリアルイベントを彩った企画でした。リアルイベントの会場でもDEPARTURE、略して「でぱちゅ」の服を着たり、グッズを身に付けてオセロニアンがたくさんいて、新たなアイコンとなりました。撮影の時のちゅうにーさんはカメラマンがシャッターを切る度にポーズや表情を変えてくれて、めっちゃかっこよかったです。ポージングはみそしーは込みらしい。メンズモデルを務めてくれた官坊氏も、いざ撮影が始まると動きや表情がそれっぽいなあ、さすがでした。

あぐな



念願の「アート勢とアート勢が主役になるイベントを開催する」を叶えることができました。アート・ノベロニア勢大好き勢として、本当に幸せな時間でした。ご協力いただいた皆さん、当日会場を盛り上げていただいた皆さん、本当に本当にありがとうございました！！



「新オセロニア10周年スペシャル」でも、きっとこのポーズやるので楽しみに！(笑)

10周年のビジュアルイメージは9周年の頃にすでにありました。

オセロニアを象徴するキャラ「リウ」をどんなポーズにするか色々な案を議論する中で、最終的に「新オセロニア」のけいじえいポーズをしたリウ」になりました。

最初は意図してやってたわけではないのですが、今では真でも「けいじえいポーズで写真撮ってください！」と言われるようになり、カメラに指を差すポーズがいつしか僕を表すポーズになりましたね。



2023年から新卒として入社し、オセロニアの10周年イヤー10周年を迎えられました。

2023年の始業が、私のリアルイベントデビューでした。

最初はちももがかりませんでした。オセロニアの勢をうまく取り入れていこうと思っていました。仕事が多忙で、忙しい中でも、イベントでかきまわった「めっちゃ頑張るね！」と、イベントでかきまわった「イベントを開催してあげたい」という声の響きが原動力となり、頑張ることができました。

約9年前にイベントを通じて出会った方たちとも、今も変わらず繋がっています。10周年の節目でも、これからも繋がってほしいです。

今までの経験を活かして、新卒や未経験なメンバーのサポートが大事であり、それに伴って責任感や覚悟が10周年は大きくなりました。

今ではオセロニアの1周年大会イベントである10周年祭典の総務班を任せていただけており、自身の成長を感じています。オセロニアの皆さんと共に、「10周年」を盛り立てたいと思っています。

この10周年という節目を乗り越えたのは本当に感謝です。新卒の頃からこの仕事に就いたこと、心から愛がけいじえいポーズを頑張ることは、この仕事はなんでもいっしょに頑張ること、オセロニアやリアルイベントがなかったら、生まれなかった喜びを生み出していること、友人や大切な仲間が居ることを自覚していること、全てこの10周年に感謝しています。

オセロニアは、まだまだこれから！オセロニアをみんなで10周年も一緒に盛り上げたいです！





ごほん

オセロニア10周年
おめでとうございます

勝っても負けても、笑っても悔しくても
そこに必ず「人」がいる。

交わされた一手、言葉、拍手や歓声!
そのひとつひとつが積み重なって、
10周年へと導いてくれたと思います。
この温かな時間を一緒に
見届けられた事が幸せです。

またオセロニアでリアルイベントで
お会いしましょう! (づはっ)



高梨悠介



祝10周年!

気付けばオセロニアがリアルイベントが
自分の楽しみになり、ライフワークになって
いました。

大事な思い出がたくさん増えました。

オセロニアンの絆、そしてこのコミュニティの
温かさが大好きです。

オセロニアを通じて出会えたすべての縁に
感謝。

またこの先の景色も一緒に!

Suke 敬
Takanashi 〇〇

2026.2.7



オセロニアンのみんなと10年間、
一緒に歩んできたファミリーからの
“これまでも、これからも”



超化ヴァイセ誕生秘話



新着オセロニア！10周年スペシャル
最後のサプライズ「ヴァイセ3闘化+超化解放」



身に纏っている籠が
3回変身する！
mode:dragon
竜闘化
mode:evil
魔闘化
mode:X
超化解放
演出テーマ「変身」

⊕神 ⊕魔 ⊕竜



アート担当…よねくら
シナリオ担当…こんあり
インタビュワー…かじ3

ついに超化したヴァイセ！その制作秘話をアートを担当したよねくらさん、シナリオを担当したこんありさんに突撃インタビュー。キャラクターが完成するまでの秘話をたっぷり語ってもらいます。

—まずスタートはどんな感じだったのですか？
よねくら(以下…よ)

始まりは6月ですね。制作にかかわるスタッフがいじえいさんに突然呼ばれ……

用意された資料を見ると『3闘化+超化解放』と書いてあって、おー！お？となりました。

—10周年でヴァイセが超化されるのは、オセロニアならなんとなく気づいてそうで、その期待を超えていくには3闘化もさせる！というけいじえいさんのアイデアでしたね(笑)

よ…風の噂で、よねくらが担当するぞとはなんとなく聞いてたのですが、まさか3闘化もするとは。頑張ってイラストレーターさんに依頼するための指示書をつくらなきゃ！と思ってたのですが……え、最後まで自分が描くんですか！？と驚きました(笑)

—普段はイラストレーターさんと協力しながら作るのですが、0(ゼロ)から最後までキャラクターを1人で描き切ることってありませんか？

よ…実は、初めてなんです！初めてできなりました超化ヴァイセとは…プレッシャーがすごくて(笑)

—**こんあり(以下…こ)**
実は魔と竜の3闘化の設定は、ある程度シナリオ側では考えていたのですが、1度に発表するとなるともっと思っただけですが、1度には発表するとなるともっと思っただけと設定をつめなければならぬ……

—まずは、どういふふうに進めていこうかと相談をしてみました。

こ…最初になぜヴァイセが3闘化し、超化に至ったのか設定を作らなければいけないと思っただけです。よね。なので普段は既存キャラクターに対しては行わない

キャラクター設定を作ることからスタートしました。ヴァイセってリリースされてから長いキャラクターなので、私がシナリオチーム担当の4代目なんです。ついに私の番が来たかと(笑)まずは過去の資料を全部あさるところから始めました。台本から、この子はなぜこのセリフを言ったのだろう？と考えて、そこから逆に歴史をつくっていくみたいな作業は楽しかったです。

こ…セリフの中にキャラクターの核になりそうなセリフを発見して、それが「私は正義のために戦うわけではない」なのですが、普通こういうキャラって正義のために戦うじゃないですか、でもそうじゃないというところは「自分のために戦っている」キャラなんだと……なので、魔は戦いへの執着や復讐が根底にある設定に。竜は「戦神」であるヴァイセが戦わなければならない宿命を背負った少女としての強さ」を出したいなと思って設定に入れ込みました。

—**こんあり**さんがまとめてくれた資料に「秘められし武器の力」とか超古代文明が遺した「戦神の遺産」とかあって、めちゃくちゃワクワクしたのですがこれって最初から設定があったのですか？

こ…いや無いです(笑)剣に特別な力があって、ヴァイセがいろいろの姿に変化していくというのが、まさに3闘化と超化にふさわしいかなという事で設定をつくりました。

よ…設定資料をいただいて思ったのが、描くときにこの内容が伝わるようにストーリーを出した情景を描きたいな。

—イラストは、どのように進めたんですか？元のキャラがいる状態でそのキャラの新しい姿を描いていくっていうのは、なかなか難しいんじゃないかと思うのですが。

よ…元のキャラがいる場合は、元の設定を活かして季節キャラなどの姿を考えますが、今回に限っては、ヴァイセは元の姿が古代なのか近未来なのかちょっと謎めいたところがあるので、コンセプトをきっちり作ることにしました。そのコンセプトをこんありさんに見せながらこうかな？こうかな？という感じで相談して……

こ…魔……いいですよね、意外性があった。よ…ヴァイセってこんな姿もみせるんだって。竜は

10th

運営シナリオ
描き下ろし

逆転オセロニア

周年S+駒 オリジナルストーリー



はなみ

君の隣で

逆に勝利の雄叫びみたいな感じで。
 よねくらさんが描いたヴァイセが、すごい女の子らしい部分があったといいなと思って見てたんですよね。ポーシングの手の感じとか繊細で。かわい。
 よね..元のヴァイセの絵があったので、それに合わせるべきかな?と想ってたのですが、自分の好きなように描いていいよって言うてもらえたので、私のイメージするヴァイセ...:気高くて美しい姿を描けるように頑張ろうって。
 タイムラプスで動画も撮ってあるのでどこかで公開されるかもしれないですね。ポーズとか表情について、試行錯誤してるところが見れると思います(笑)



よ..えーアニメ化するの!?!って思いました。その時はまだ他人事のように(笑)
 けいじえいさんがオセロニアへのサブライズとして、PVでキャラを動かしたいっていったんですよ。魔法少女の変身みたいな、とか...。いきなりぶっこんでくるなとは思ったのですが、DWAの他の部署に協力をしてもらいながら無事実現することになったという。
 よ..設定画があると、キャラクター絵を書くときに便利ではあるのですが3面図を描くとなると、これは武器とか全部詳細に描かなきゃいけないとドキドキしました。ちょうどこの間、アニメのビデオコンテを見ていただいたのですが、本当に動いている姿を見て感動しました。
 ー実は超化の姿を設定画で最初に見せてもらっていたんですね。これはとても格好良いなど感動しました。
 よ..今回のデザインはSF感が強めて作ってます。ヴァイセといえば金色がアクセントカラーとして使われていたのですが、より強くなったという意味をこめてプラチナを意識して、髪の毛も淡く光り輝いている感じがだせるというかな。
 ー超化イラストなのですが、ポーズとかに意味はあるんですか?
 よ..戦ってる姿がやはりヴァイセっぽいかなと思っただけですが、魔と竜の姿での戦いを経て、逆に全てをさらけ出すというか、すべてを受け入れるというか、両手の剣をふり払った開放的な姿が浮かんでこの形になりました。
 全体の雰囲気としては、今回の10周年の祭典のイメージを取り入れたくてプリズム感とか惑星感とかキラキラした感じですね。10周年ニケも私が担当したんですけどそれと同じ方向性で、今までのヴァイセは虹色でしたがよりプリズム感をだした青系統になっています。
 よ..だから、剣とか銀河っぽいんですね。
 よ..そうですね、背景も10周年にあわせてX(エックス)ばくしてたり、剣の軌道もPVのセリフの中でO(ゼロ)がワードとして入っていたので意識してみました。ラフから仕上げに入るにあたってちょ



どCV台本が完成してきて、その内容をうけて絵にも反映させています。
 よ..「共に歩もう」ですよ。
 キャラクターを制作するときは、まずキャラクターの元となる設定をアートさんに託します。その後ラフが出来たら、それを見ながら台本を制作するんです。今回は設定画を見ながら先行してセリフを作りました。その後、追加でPV用のセリフも作るということになって入れたセリフです。今までのヴァイセってわりとユーザーと同じ立ち位置で戦うキャラ...:というイメージだったんですが、超化は「人々を導く女神的な側面」を持たせたかったんです。
 10年間一緒に歩んでくれたオセロニアに対して今までありがとうって感じて呼びかけてるんだと思います(笑)

キャラクターイラストが完成するまでって、台本とイラストをやり取りしながら進むんですね。ラフをみてセリフが生まれ、セリフからイラストがブラッシュアップされていくという。
 よ..設定を作るときは、自分の中でも一応こういうキャラクターにしたいっていう完成イメージは決めているのですが、その完成イメージを超えてきたときがとっても嬉しいですね。今回はまさにその感じで、想像を超えてきたのでかなり創作意欲が湧きました!
 よ..お互い影響しあって、キャラクターを作り上げてるって感じですね。今回の3周年と超化のヴァイセはO(ゼロ)から最後仕上げるころまでやれた

のが、いい経験だなあって(笑)
 よ..このあとちょうどヴァイセのボイス収録ですね。本当に全部に立ち合えますね。
 ※実は、このボイスの収録で聞いた声で、超化の表情をどうするか決まりました。
 ーそれでは最後にオセロニアのみなさんに向けてメッセージを!
 よ..10周年、本当にみなさんのおかげです。ありがたうございも使っているキャラを描かせてもらってるなんて、とても光栄でした。戦術に組み込める駒になるといういいなあ...。
 よ..ヴァイセの超化そして10周年に当事者として関わらせていただけて大変光栄です。宴とかに行ってるシナリオですっていうと、なんですかそれ?みたいな反応をされることもあるんです(笑)ゲーム内にはフレバーという短いテキストしか載せられないのですが、裏ではいろいろ設定を考えています。ボイスは図鑑で聞けるので、ぜひ聞いてみてください!ヴァイセは歴史が詰まったキャラなのでそれぞれのヴァイセにこめられたセリフの差異なんかも楽しんでいただけたらと思います。
 ーオセロニアのみなさん、制作チームの魂のこもったキャラクターです。イラストもボイスも隔々まで堪能してください!
 よ..さあ...:がんばろう!!
 ※インタビューの時点でイラストはまだ完成しておらず鋭意制作中でした。

よねくら
 ●アート担当
 ヴァイセ3周年超化/ノエイン & イニス/マキュリス等

こんあり
 ●シナリオ担当
 ヴァイセ3周年超化/ノエイン & イニス/ワグルウ等担当

とある使命を帯びた12星座の皇子たち。

彼らは皇子であると同時にそれぞれ貴族としての責務もある。カマリ等がその筆頭として思い浮かぶだろう。

この祝賀パーティー会場にも貴族の令息令嬢として参加している二人がいた。

「わあ……見て見てアマテルくん、凄い華やかだね」

「そんなきよろきよろすんなよ。貴族らしくとんと構えてろとーんと」

「そうはいっても……あたしたちってあんまりこういうパーティーに呼ばれないじゃない」

「まあ、大体呼ばれるのはカマリとかフェルグだもんなあ」

「でしょ？ だから珍しくて」

「だからこそ、シャンとしねーと、だろ」

華やかな会場の隅で何やら言葉を交わす少年と少女。揃いのデザインのスーツとドレスを身に纏っている二人は、おうし座の皇子、アマテルとおひつじ座の皇子、シエラハだ。

幼馴染にして、現在は同じ学園へ通う同級生でもある二人だが今日は守護者としてこのパーティーに参加している。

シエラハの言葉の通り、まだ学生という身分である二人は基本的に社交より勉学に励むように、と12星座の皇子当代の長であるカマリや両親から言われている。そのため、二人だけでこういう場に姿を出すことは初めてということもあり、シエラハは浮かれていた。

いくらシエラハが学園では優等生として知られていたとしても、中身は年相応の少女らしく華やかな場には浮足立ってしまふ。

それは、何もパーティーだから……というわけだけではない。

何か飲み物を、とあたりを見渡すシエラハの前にカクテルグラスが差し出された。カラン、と中の氷が涼やかな音を立てるグラスを思わず受け取ったシエラハは目の前に立つ人物を見上げる。そこにはパーテンダー姿の竜人の青年がいた。

「お嬢さん、お坊ちゃん、会話のお共に冷たいモクテルをどうぞ」

「あ、ありがとうございます」

「ちようと喉が渴いてたから助かる」

「お二人とも良い夜を」

お盆を胸の前に抱いてパーテンダーは一礼し、去っていく。彼の長くのばされた赤毛が混じるミルクティー色の髪を目で追っていたシエラハだったが、興味は受け取ったモクテルに移った。カクテルグラスに口を付けたシエラハはモクテルを一口飲んでみる。

淡いオレンジ色のモクテルはオレンジジュースがベースなのかすっきりとして飲みやすかった。

二人は知らないのだが、パーテンダーが用意したモクテルはシンデレラという名である。ちなみにカクテル言葉は『夢見る少女』。アマテルに対するシエラハの想いを的確に読み取ったかのようなチョイスだが、パーテンダーの真意は誰にもわからない。

「すっきりしてて美味しいね」

「甘すぎなくていいな」

「……ここに来るまでにひと悶着あったのもあって、結構喉乾いてみたい」

えへへ、と照れたように笑うシエラハにアマテルは確かに、と頷いた。彼女のいうひと悶着とは、会場に向かう途中に急に襲い掛かってきた者がいたこと。最初こそ、12星座の皇子を狙ってきたのかと思っただが、どうやらただの荒くれ者だったらしく二人にとって脅威でも何でもなかったが。

「なんだっただらうねえ、あの人たち」

ちらりと隣に立つアマテルを横目で盗み見たシエラハは、見慣れない正装に身を包む彼に見惚れてしまふ。

言葉にこそしないが、今日だけで何度心の中で格好いいアマテルくん！と賛辞を贈っただらうか。

「……あん？ 何見てんだよ？ とっか変なところあるか？」

「ううん！ 無い！！ 変な所なんてこれっぽっちも！！！！」

あまりにも熱烈な視線を向けてくるシエラハにさすがのアマテルも気づいたらしく、いぶかし気に彼女を見つめた。まさか見ているとこがバレるとは思っていなかったのか、シエラハは思わず上ずった大きな声を上げてしまふ。元よりよく通るシエラハの声はパーティー会場内に響き渡り、周りの視線を一気に集めてしまった。

やってしまったと青くなるシエラハの手をアマテルは咄嗟に掴み、周りに軽く頭を下げてその場を離れる。

「アマテルくん……！！」

「いったん離れるぞ……ああ、ほらあそことか座れそうだ」

アマテルが指さしたのはサロンに飾られた羊と牛の彫刻……その前に設置されたベンチだった。とうやら彫刻とセットとして設置されているらしい石づくりのベンチ自体にも緻密な細工がされており、金が掛かってんな、とアマテルは変な感想を抱く。

ちなみに隣のシエラハは彫刻の方に視線を奪われており、ここでも二人の性格の違いが出ているのだが、本人たちは知る由もない。

ドカッと豪快に腰を下ろしたアマテルの隣にシエラハはドレスが皺にならぬように気を付けながら座る。

まだ開場して時間が経っていないこともあり、サロンにいる人は疎らだった。そのおかげで会場内を包んでいた熱気からは逃れられているのだが。

ふう、と息を吐いたシエラハは緊張から解放されて自分の喉がひどく乾いていることに気づく。

「さあ……喧嘩売る相手選べっての」

「衣装破れなくてよかったね」

「ホントにな……ちよっとも破いちまってたらカマリにとやされるところだった」

「それはアマテルくんが今まで色々トラブル起こしてるからでしょ？ カマリさん優しいよ？」

「そうかあ？ 何考えてるかわかんなくて苦手だわ」

皇子たちを束ねる者だからなのか、カマリは時折すべてを見透かしているかのような言動をする。シエラハはカマリさんだからねえ、と流しているがアマテルからすれば得体が知れないという一言に限る。優しいというのは確かではあるが、何か腹の奥に抱えていそうというのもなくなくわかるのだ。だからと言って、敵に回すつもりは毛頭ないが。

「つかそもそも、なんで今回パーティーに出るのがオレたちなんだよ」

「ええ……今更だねえ？」

「だってよ……こんな衣装まで用意してるんだぜ？」

服のことはよくわからないアマテルでもわかる上等な生地でてきたマントを掴んで彼は肩をすくめた。

先ほどの会話にも拳があったが、大体こういう場に呼ばれるのはカマリやフェルグといった大人たちであることが多い。それなのに、今回は皇子の中でも年少者である二人が抜擢されたのには確かに違和感があるが……。

「仕方ないんじゃない？ カマリさんはいつも以上に忙しいみたいだし、フェル兄さんも双魚宮の方が手が離せないらしいし……シャウラ姉さんもなんかの助っ人で来れないし」

「……真紅姐さんはそもそもこういうところこねーしなあ」

「カマリさんがいないならホルちゃんも来れないし、ナルア姉さんも無理って聞いたし、レオニスさんはどこにいるかわかんないし……スピカちゃんはレオニスさん探しだし」

「スッもアルカも……来るわけねーか……はあ、そうするとオレたちが代表ってのも仕方ねーのか」

つらつらと他の皇子たちが来ることができな理由を指折り数えるシエラハにアマテルは少々圧倒される。自分と違い、彼女が他の皇子たちと積極的に関わっていることが目に見えてわかり、アマテルはシエラハラしいと口元を緩めた。

そんなアマテルを知ってか知らずか、シエラハは悪戯っ子のように笑って彼を見る。

「あたしたちが適任だったんだよ！ カマリさんから期待されてるってことじゃない？」

「はは、たしかにそうだな」

『他にいないから仕方なく』ではなく『皇子たちの長に期待されているから』と前向きに考えるシエラハに釣られてアマテルも背筋を正した。

そうだ、自分が今ここにいるのは12星座の皇子の代表として。ならば、胸を張り貴族として、皇子として恥ずかしくない振る舞いをしなければ。こは、学園とは違うのだから。

背筋を正し、前を向くアマテルの雰囲気が変わったことにシエラハも気づいた。アマテルは表情を引き締め前を向く。その真剣な表情にシエラハの胸は高鳴る。シエラハは自分が浮足立っていることを自覚していた。そして、その理由がパーティーの華やかさに当てられただけではないことも。シエラハが浮かれている一番の理由が、隣にいるアマテルの存在だった。彼女がアマテルに恋心を抱いているのは周知の事実である。それはもちろん、学園の友人だけでなく一部の皇子たちにも知られている。

物心ついた時から片想いをしているアマテルがいつもと違う正装をして自分の隣にいる……それが恋に恋する少女にとって浮かれるには十分すぎる

唇を引き結んだ。
サロンにも人が増えてきて、熱気がこもっている。だが、頬が熱いのはそれだけが原因でないことをシエラハは自覚していた。
深呼吸を一つ吐き出したシエラハは口を開く。

「あ、アマテルくん……」

「オレも……守護者として気合入れないとだな……ってなんか言ったか？」

一世一代の告白を口にしようとしたシエラハの言葉は、アマテルの独り言にかき消された。
不思議そうに自分を見るアマテルに、シエラハはなんでもないと、誤魔化すように笑みを浮かべる。そして、緊張で冷え切った手で火照る頬をシエラハは包んだ。手袋越しでも冷たさは伝わり、冷静になる。

(フェル兄さん、せっかく背中を押してくれたのにごめん。でも、今はまだこの想いを伝える時じゃないと思う)

本人に届くわけない謝罪をシエラハは心の中で重ねる。

(誰もが認める守護者になって、堂々とアマテルくんの隣に立てるようになるまで、この想いは秘めておこう)

胸に手を置いたシエラハはベンチから立ち上がった。そして、座るアマテルを見て手を差し出す。きょとんとした表情でアマテルは、シエラハの顔と差し出された手を交互に見比べた。

その面食らったような表情は、シエラハ以外にはあまり見せないもので……。それをわかっているシエラハは胸の奥が温かくなる。そして、心の底から嬉しい思いが溢れシエラハははじけるような笑顔を浮かべた。

「これからもよろしくね、アマテルくん」

状況なのだ。

二人の衣装はカマリが用意したのだが、動きやすさもありつつきちっとしたスーツとタッセル等の装飾が華やかさを演出しているマントはアマテルに大変よく似合っている。

さすがカマリさん、アマテルくんが嫌がらないギリギリのフォーマルさだよ！ とシエラハは内心カマリに惜しみない賛辞を送っていた。
なお、シエラハ自身のドレスも少女らしさと大人っぽさを合わせたデザインなのだが、本人はアマテルしか見えていない。

「アマテルくん……かっこいい」

「わかったわかった……そんなにおだててもなにもでねえって」

こうなったシエラハにも慣れているのかアマテルは軽く受け流す。

そこはさすが幼馴染というべきだろうか。だが、受け流さなくていいことも受け流しているため、シャウラからもとかしがられていることをアマテルは知らない。

アマテルに見惚れていたシエラハの脳裏に、フェルグの顔が浮かんだ。何かと面倒見がいいフェルグに、シエラハは定期的に相談に乗ってもらっている。それは学業や皇子としてだけでなく、恋愛相談も含む。最初こそ、多忙であるフェルグに恋愛相談などと遠慮していた。聞き上手な彼の前ではそんな遠慮など早々に瓦解して、淡い恋心をすべて曝け出していたのだが。

そんなフェルグに、今度アマテルとパーティーに出席すると告げた時にアドバイスをもらったのだ。

「せっかくの非日常なのだから、少し勇気を出してみてもいいんじゃないか？」

ゆるく微笑むフェルグの眼鏡越しの瞳はとても優しくかった。彼は明言はしていなかったが、何を指しているのかはシエラハにもわかる。

カクテルグラスに残るモクテルを飲み干し、シエラハは意を決したように

突拍子もないと感じるシエラハの言葉にも、アマテルは動じずにフッと笑みを浮かべ彼女の手を強く握り返す。

「ま、何をいさら、だけとな。シエラハ」

手を取り合って笑う二人の皇子。それを見ていたのは羊と牛の彫刻だけだった。

おしまい

骨三郎は 主役になりたい

骨三郎は主役になりたい

「人生はパーティーのようなもの」とは誰の言葉だったろう。

それでは髑髏生は？ いや髑髏生ってなんだよという言葉は一旦飲み込むとして、骨三郎はパーティー会場に着いたとき、たしかにこう言ったのだ。

「ハッハー！ パーティーってのはサイコーだナー！！！！！」

「骨三郎、うるさい」

いつもの毒舌も、今日ばかりは少しだけ優しい口調である。……と信じていた。

死神の少女アズリエルは、結び上げた髪からはらりとこぼれた一筋をくると指で弄ぶ。慣れない衣装のせい、はたまた会場に満ちる熱気のせい、とどこか落ち着かない様子だ。

「なんダッテそんなソワソワしてるんだい、アズさんよオ」

「……こういうの、初めてだから」

「ははくん、華やかな場所だからキンチョーするってか？ なんだよ意外と可愛いところあるじゃねーか！ お洒落な服まで着ちゃって、馬子にも衣装だなコリャー！」

宙に浮かぶ髑髏がガハハハとけたたましく笑う。アズリエルは無表情のまま骨三郎を一瞥して、ふいと別の方向に向き直った。

「あ、豆大福」

「って全然話聞いてねえし！！！！」

思わずツッコミを入れる骨三郎。しかし少女の歩みは止まらない。

「え、これ本気で聞いてないヤツ？ ふらふら歩いて迷子になってもオレサマは知らねーゾ」

目前にそびえる勇壮な牛の銅像を見上げ、ジークフリートは感嘆の声を

じんあり



漏らした。

「見事な筋肉だ……」

銅像を制作するにあたって、いささか誇張はあったかもしれない。が、ナンディの逞しく鍛え上げられた筋肉はシャンドリアの光を受けて神々しく艶めいていた。

「俺ももっと強くならねば」

なぜかナンディの銅像に触発され、決意を新たにすジークフリート。その背後から不意に声がした。

「もう、ジークってほんと真面目なんだから。こんな銅像と比べなくて、あなたは十分強いのに」

振り返ると、穏やかな笑みをたたえた少女が立っていた。いつか見たような純白のドレスに、焦げ茶色の長い髪がやわらかく揺れている。

「クリーム、来ていたのか」

ジークフリートの婚約者であるクリームヒルト嬢は、茶目っ気たっぷり「ジークがいると思ったから」と肩をすくめる。

「なっ、先に言ってくれば迎えに行っただが……」

照れくさそうに声を詰まらせる青年を、愛おしげに見つめるクリームヒルト。

「そうそう、あなたに渡したいものが――」

そう言って一步を踏み出そうとした、そのとき。

「こ、こっちに來るなあああ！」

凍りつくような悲鳴。ジークフリートとクリームヒルトは顔を見合わせ、すぐさま悲鳴のした方へ駆け出した。

状況は一目瞭然だった。

群衆の真ん中にぼっかりと空いた空間。その中心に、大鎌を手にした少女がぼつんと立って、不思議そうに辺りを見回している。

「遠慮しないでいいのに」

「いや、抵抗してんダヨ！ ツーカ、祝いの場でそんな物騒なモン振り回し

「ちゃダメだらうヨ！」
ぎんぎんんと騒ぎ立てる髑髏に向かって、アズリエルはこくりと首を傾げる。

「……祝いの華？」
「何その隠喩表現、血祭りってコトかア!？」
「血祭りとは聞き捨てならないな」

「コントを練り広げるふたり……いや、ひとりといち髑髏に対峙するように、ジークフリートが前に歩み出た。」
「んん? どちらサマです? すみませんねえ、うちの子がご迷惑をお掛けシテ!」

カタカタと中空で揺れる骨三郎には目もくれず、青年は死神の少女に鋭い眼差しを突き付ける。
「……」

無言で見つめ返す瞳からは、なんの感情も読み取ることとはできない。

「ウーン。この構図、とっかで見たとある気がするナ……まあ気のせいカ」
「つかオイ、オレサマを無視すんなッテ! 聞けこらア!」

もはや外野の言葉は誰の耳にも届かない。
しかし髑髏というのは諦めが悪いものだ。なんたって、死後も骨となって飛び回っているくらいなのだから。

「おーい、アズ。こいつ結構強そうッスヨ? マジでやる気?」

「骨三郎は黙ってて」

このときアズリエルは感じていた。青年から滲み出る圧倒的な闘気を。ほんの一呼吸乱れただけで、攻撃の隙を与えてしまいかねないほどの緊張感を。

一方、びしゃりと言いくるめられた骨三郎は、全身——という表現が正しいのかは分からないが——をわなわたと震わせていた。やがて、黒い眼窩の奥に宿った光がふっと消えたかと思うと、髑髏を包むオーラと共に、その姿は会場から消え去った。

そのまま数分ほど経ったろうか。一触即発の空気を壊したのは、クリムヒルトの可愛らしい声だった。

「きゃあ! なにかしら、これ……」

「だから、ミラクルミックスピュアエクストラフロール——」

「あー、こほん。名称はこの際どうでもいいだろう。その香りを辿っていけば見つかるんじゃないか?」

「そうかもしれない、とアズリエルは思った。」

そんなことはなかった。

考えてみれば当たり前のことである。数千人規模のパーティー会場で、たったひとつの香りを頼りに髑髏を探すのは容易なことではない。

アズリエルの鼻——もとい勘を頼りにふらふらと会場内を歩き回った三人は、何の手がかりも得られないまま、気がつけばナンディの銅像の前で立ち往生していた。

「ジークのいちばん大切なモノって、なに?」

少女の素朴な問いに、ふたりは思わず顔を見合わせる。クリムヒルトは恥ずかしそうに胸に手を当て、そっと相手を見つめた。

「そ、そうだな……」

困ったように目を逸らすジークフリート。その頬には心なしか赤みが差している。

「君には、守りたいと思う人や一緒にいて幸せな気持ちになる人はいないのか?」

「ひと……それは考えもしなかった」

ふと視線を落とすと、ひらりと一筋の髪が頬をかすめた。丁寧に結われた髪。

——そういえば髪をセットしてもらっている間、骨三郎がうるさくて……。たしかさっきも、孫の衣装がとうとうかかって言った気がする。骨三郎に孫なんていたんだ。

「ねえ、アズちゃん」

クリムヒルトが、ほどけたアズリエルの髪をそっと結び直した。

「骨三郎さんと交換できるほどの「大切なモノ」が見つからない。それでもう答えなんじゃないかな?」

彼女の足元に、ひらりと紙片が舞い降りた。
慌てて駆け寄ったジークフリートが紙片を拾い上げ、はっと息を呑む。
そして無言のまま、アズリエルに向けて紙をふわりと放った。
そこにはこう書かれていた。

『骨三郎はあずかったゾ! 返して欲しければ、いちばん大切なモノと交換ダ!』

「いちばん大切なモノ……」

そっと呟く。言葉にしてみたのはいいものの、頭の中には何のイメージも湧いてこない。あるとすれば、さっき食べた豆大福くらいだ。

「アズ、と言ったか」

見上げると、何となく見覚えのある青年が立っていた。

「……だれ?」

「い、今までずっと目の前にいたはずだが……。まあいい、名乗っていなかった俺にも非があるな。改めて自己紹介しよう、俺はジークフリートだ」

「私はクリムヒルトよ。よろしくね」

こくりと頷く。

クリムヒルトと名乗った少女は心配そうに目を伏せながら、アズリエルと同じ目線の高さになるように腰をかがめた。

「骨三郎さんはきつと帰ってくるわ。ねえ、なにか彼を探す手掛かりになるようなものはないかしら?」

アズリエルはしばし無言で考えたあと、鼻をすんと鳴らした。

「そうだ、におい。骨三郎、きょうは気合い入れて香水つけてた」

「ほう……どんな香りだ?」

ジークフリートが興味深そうに尋ねる。

「スペシャルミラクルミックスナチュラルリッチフレッシュアズリエルフレグランス」

「なんだって?」

「……」

俯いたアズリエルを見て、ジークフリートがふっと優しい笑みをこぼした。それから中空に向かって声を張り上げる。

「さて、そろそろ出てきたらどうだ?」

アズリエルが不思議そうに顔を上げたその瞬間、ナンディ像の後ろから、ひゅっつと緑色の閃光が放たれた。その先にいたのは……

「ハッハー!!! 皆さんお待ちかね、オレサマの名前はスカル——ッテ、エ?」

すばんと小気味のいい音が聞こえた。気がした。

実際にはアズリエルの大鎌が大气とともにナンディ像の台座を真っ二つにした音だったのだが、あまりにも素早い一閃だったので、何が起きたのか理解できなかった。誰ひとりとして。

「あ、骨三郎だ」

鎌を振るった当の本人でさえ驚いたようで、わずかに目を見開く。

「オイオイオイ! 何してんだヨ、アズ〜〜〜!」

「それが骨三郎の最期の言葉だった」

アズリエルが後を引き継ぐ。こうして物語は終わりを迎えた……。

「勝手に終わらせるナ!!!」
物語の再開とともに、鈍い轟音が響く。巨大なナンディの銅像が、ぐらりと揺らいだ。

「避けろッ!!!」

咄嗟にクリムヒルトを抱き寄せながら、ジークフリートが叫ぶ。

彼の指示は実的確だった。アズリエルの大鎌を使えば銅像を裁断することは出来るが、たとえ半分になったナンディでも、下敷きになればひとたまりもないだろう。

だから少女は、第三の選択肢をとった。

「骨三郎、いいところに」

近くに浮遊していた骨三郎を拳にはめて、振りかかるナンディ像に思いっきり拳を叩きこんだのである。

「骨三郎パーンチ」

「イテエエエエエ……！」
骨三郎の断末魔が終わる頃には、ナンディ像は粉々になって消えていた。
ごめんよ、ナンディ。

「まったくヨ！ いきなり斬りかかるヤツがあるかってんだ！」

「からだが勝手に動いてた。日々の修行の成果」

「ポジティブに捉えすぎだろォ！？ ツーカ、約束のブツはどうしたんだヨ！」

「ざわめく会場の中、ぼっかりと空いた空間にふたり……いや、ひとりといちこ骸骨はいた。」

「約束のブツ？」

「ホラ、いちばん大切なモノと交換って書いてあったダロ！」

「考えてみただけと、なかった」

「アズリエルは銅像の欠片を拾い上げ、興味深そうに見つめている。」

「なかったから持ってきてませんでしたか？ もしオレサマがほんとに誘拐されてたらとーすんダヨ！ まさか、オレサマもう用無しナノ……？」

「わなわなと震える骨三郎を横目に、ぼいっと欠片を床に放り投げる。」

「からん、とかすかな音が響いた。その音と見分けがつかないほどの小さな声で、」

「……骨三郎が、いちばんだった」

「アズリエルが呟いた。」

「エ？ オレサマがいちばん……って言った？」

「アズリエルは答えない。」

「これもしかして夢ナノ？ ドッキリじゃないよなア！？」

「ドッキリを仕掛けたのは骨三郎のほう」

「正論である。」

「どうしてなくなったの？」

「そりゃあよき、最近のオレサマの扱いといったら、その辺の石ころ以下じゃネーノ！ オレサマだって、オレサマだって……」

「たまにはパーティーの主役になりたいんだゼー……！」
アズリエルは静かにふっと息を吐いて、骨三郎の方をじっと見つめた。
その口元がほんの少し緩んでいたのは、気のせいではないだろう。
「もういなくなるなんてね」

「いつから気付いていたの？ 骨三郎さんのこと」

「クリムヒルトとジークフリートは、パーティー会場の別室に逃げ込んでいた。喧騒から離れた静かな部屋に、ふたりの声だけが響く。」

「ああ、狂言誘拐のことか。最初から疑ってはいいた。あの時は集中していたからな……敵の侵入を見落とすはずがない」

「たしかに、臨戦態勢のジークの隣で堂々と誘拐するのは難しそうね」

「だが、確信したのは牛の銅像の前に戻ったときだろうか」

「あら、どうして？」

「匂いだ。最初にあの場所にいたときにはなかった香りがした。しかも、ごく最近嗅いだことのある香りが」

「クリムヒルトは少し驚いたように、ジークフリートの顔を覗き込んだ。」

「ジークに香水を嗅ぎ分ける能力があるなんて、ちょっと意外だわ」

「心外だと言わんばかりに眉をひそめ、しかしすぐに照れくさそうに顔をそむける。」

「……クリムと母に言われていたからな。香水も身だしなみのひとつだと」

「答えを聞いたクリムヒルトはふっと吹き出し、満足気にころころと笑った。」

「そうだ、ジークに渡したいものがあったの」

「ジークフリートがきょとんとした表情を浮かべる中、彼女は背伸びをして、その髪をリボンで結んだ。衣装と同じ、深紅のリボン。」

「いつもありがとう、ジーク」

「微笑み返したジークフリートの頬は、この日いちばん紅く染まっていた。」

「おしまい」

10th

運営シナリオ
描き下ろし

逆転オセロニア

周年S+駒

オリジナルストーリー

to マイフレンド



いとけん

「うーん……心が熱くなると……かな？」
やさしく答えていた。

宴会はほとんど盛り上がった。

吟遊詩人がリュートを弾き始め、みんなで歌い出す。

子供たちはテーブルを叩いてリズムを取る。

フルフレアは、笑顔で歌に合わせていた。

「芽生えたのはキラメキ♪好きを叶える物語♪」

リアンツィールは静かにワインを飲みながら見守っている。

夜が更け、子供たちが眠くなると、母親たちが抱き上げて部屋へ連れて行く。

酒場は少し静かになった。

暖炉の火がばちばちと音を立てる。

「……お名前を、まだ伺っていませんでした」

フルフレアが静かに言った。

「そうだって、リアンツィールよ」

「リアンツィールさん……先日も今日も、本当にありがとうございます」

「ふふん、覚えてたんだ」

「はい。あなたも、私のこと覚えていてくれたんですね」

暖炉の火が二人の横顔を優しく照らす。

フルフレアがぼつりと呟いた。

「村では争いなんてありませんでしたが……外の世界は、怖いところも多いですね」

「ふーん。でも、まあ退屈はしないし？」

それにあの山賊みたいなやつらばっかじゃないしね」

「はい。たくさん出会えました。あなたみたいな人にも」

リアンツィールは少し照れたようにグラスを回した。

「バックだねえ、あたしは悪魔よ悪魔。わかる？悪い魔って書いて悪魔」

フルフレアは静かに微笑んだ。

二人はそのまま暖炉の前で、うとうとしつつもずっと語り続けた。
そして時は明日となり、また新しい朝が来る。

朝の光が窓から差し込み、酒場は穏やかな空気に包まれていた。

リアンツィールは暖炉の前の椅子で目を覚ました。

フルフレアはすでに起きていて、窓辺で朝の空を見上げている。

「おはようございます、リアンツィールさん」

「……ん、おはよう。もう朝？」

リアンツィールは欠伸をしながら立ち上がり、フルフレアの隣に並んだ。

青い空に白い雲がゆっくり流れる。

「いい天気ですね」

「うん……」

二人はしばらく無言で空を見ていた。

でも、沈黙は不思議と心地よかった。

フルフレアがぼつりと呟いた。

「今日はどちらへ？」

「んー……別に決めてないわ。暇だからどこでもいいの」

「私は……とりあえず次は北の『ケケロザット』の町に行こうと思っています」

リアンツィールは興味を示す。

「お、結構治安の悪い街道を通ることになるのね？ 面白そう。

暇だし、そこくらいまではついていこうかな」

フルフレアの顔がぱっと明るくなった。

「本当ですか？ 嬉しいです」

「暇つぶしよ、暇つぶしー」

リアンツィールは照れ隠しにそっぽを向いたが、口元は緩んでいる。

二人は宿を出た。

キャラバンはここから東へ向かうルートになるため別れを告げる。

子供たちが大声で見送る。

「行いから見るに善魔では？」

「そんなの聞いたことない」

ふっとリアンツィールは笑った。

それから色々なことを話した。

フルフレアはかなり世間に疎く、これまでも騙されて人前で歌わされたり、

変な格好で客引きをさせられたり、いろいろ利用されていた。

(まあ、これだけかわいけりゃ悪い奴らも寄ってくるか……)

リアンツィールも別の理由でよく狙われていた。重力と斥力を自在に操れるのだ。

いくらでも利用価値はある。だがそういった輩はすべて山の向こうへ吹っ

飛ばすか、

地下数百メートルまで沈めてきた。

『寄ってくる奴ら』が力づくの者だったら、フルフレアもその腕で難なく切り

抜けられるだろう。だが、そうではなく言葉巧みに利用しようとする者

に対しては、この娘は純粹すぎる。ちょっと心配になった。

「よし、じゃあ今夜はあたしが世間ってやつを教えてあげるわ。ありがたく

思いなさい」

「はいっ。よろしくお願いしますリアンツィール先生」

妙な会話に笑ってしまふ。一人で過ごすことの多い悪魔の少女にとって、

こういうった気持ちは久しぶりだった。

暖炉の火がゆらゆらと揺れる。

真夜中。

酒場は静かになり、遠くて誰かの寝息が聞こえるだけ。

「……でね、高天原デパートに連れていかれたのよ、そいつ」

「てばーと？ よくわからないですが、で、とうなったんでその鎧の人」

「赤いタイツに着替えさせられて屋上で踊らされたわ。いろんな意味で」

「そ、それは恐ろしいですね……」

「いーい？ あんたも似たようなもんなんだから。気をつけなさいよね……」

「またねー！ お姉ちゃんたち！」

フルフレアたちは微笑んで手を振り、モモオルカの町を後にした。

街道に出て、並んで進むふたり。

風が心地いい。遠くて馬のいななきが聞こえる。

「そういえば、さっき言っていましたよね。治安が悪いと面白いって」

「ああ、退屈しないからね。自由過ぎるっていうのも大変なのよ」

「私にはリアンツィールさんのほうが面白いです」

「ふん……人のこと言えないわよあんたも」

二人は小さく笑い合った。

ふと、轟音とともに巨大な影が街道を覆う。

グラランド・ワイバーン。

大陸最強クラスの魔獣だ。

その進路は——ここからはやや東。キャラバンが進行する街道だった。

時間と進行速度から、遭遇する可能性が高い。そして、食料を大量に積ん

でいる。

子供たちの笑顔が頭に浮かぶ。

キャラバン長の感激した顔も。

「戻ります」

フルフレアは迷わず引き返し始めた。

慌てて声をかけるリアンツィール。

「ちょっと待ちなさいよ！ あれ、シヤレになんないくらい強いわよ！？」

必ずキャラバンが遭遇するとは限らないし、それにもう間に合わないかも

……

それでも行くの！？」

フルフレアは振り返り、静かに、でもはっきりと答えた。

「どれも躊躇する理由にはなりませんから」

まるで「どうしてそんなこと聞くの？」という顔。

困っている人がいる。

ただそれだけ。

彼女には、それが当たり前だった。

そのまま全力で駆け出すフルフレア。

リアンツィールは一瞬呆然とする。

昨日散々教えてやっただろう。世間知らずのお人よしめ。

「……もう関係ないんだからほっときゃいいのに。」

自分まで危ない目に遭うわよ……まったく」

と口では文句を言いながら、でも顔に笑みを浮かべていた。

「まあ……暇だしね。山賊より面白そう♪」

ふわりと空で向きを変え、フルフレアの後を追いかける。

夕陽の中、

桃色の髪の剣士が地面を蹴り、

碧髪の悪魔が空を駆ける。

二人の背中が、まだ少し距離があったけれど、

確実に近づいていた。

「……てことがあったのよ」

ここはとあるパーティ会場。着飾ったリアンツィールの話に耳を傾けていた子供が二人。羊のような角をはやした少女と牛のような角をはやした少年だ。少女のほうは目をキラキラさせて聞いている。

「わあ〜なんだか素敵な友情物語ですね！」

リアンツィールはどやあ……と満悦だ。そこへフルフレアが現れる。

「適当に話を盛らないでリアン！ なによそのグランド・ワイバーンって……」

「怒らないでよフレア。まあこういうのはさ、楽しい方が……」

何よそれと怒るフレアととぼけるリアン。

それを見て牛の角の少年はつぶやく

「まあ嘘くさいとは思ってたけどな……」

おしまい



最後までお読みいただき
ありがとうございます

OTHELLONIA 10th Anniversary





『逆転オセロニア Special Memorial Book 』

2026年 2月 7日 初版第1刷発行

発行 株式会社ディー・エヌ・エー

●本書の転売等を禁じます。

オセロ・Othello は登録商標です。
TM&© Othello, Co. and MegaHouse
© 2016 DeNA Co., Ltd.

逆転セロニア

THELLONIA